



ハッケヨイ、ノコッタ、ノコッタ(業間活動・全校運動) ー提供：明南小学校ー



<http://www.nagk.or.jp/>

第166号

目次

○巻頭言	1面	○児童・生徒の声	5面
○平成23年度役員名簿	2面	○栄養士さんの窓	6面
○平成23年度事業内容	2面	○新規採用学校栄養職員の抱負	7面
○給食雑感	3面	○学校給食センター紹介	8面
○組織変更	4面	○給食会日誌抄	8面
○各課・各事務所から	4面		

東日本大震災及び長野県北部地震で被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

大震災が発生した当初は、県内の学校給食調理場でも食材の一部が手に入りにくい状況でしたが、学校の春休みと時期が重なったこともあり、大きな混乱にまでは至りませんでした。学校給食会においても、食材の供給に出来るだけ支障が生じないように手を尽くしていただき、感謝申し上げます。

さて、改正学校給食法が施行されて二年が経過しました。各学校では給食を生き残る教材として活用し、食育の推進が図られています。諸調査では、児童生徒の食生活に改善の様子が見て取れるようになってきており、学校における食育の成果が徐々に現れています。

衛生管理に関しては、昨年度、全国で学校給食による食中毒が二件発生し、そのうち一件は発症者が千三百人を超える大規模なものでした。県内では関係者の皆様の日頃の努力のおかげで食中毒は発生しなかったものの、異物混入が続いた時期があり大変心配しましたが、幸いに健康被害は生じませんでした。学校給食の衛生管理の徹底を図るため、県では昨年度に続き、研修を受けた衛生管理者を県内調理場の一部に派遣し、学校給食衛生管理基準が遵守されるよう調査及び助言を行います。

また、本年度も農政部と連携し、県産農産物の利用促進に取り組むコーディネーターを配置し学校給食での地場産物の活用を図ります。子どもたちが様々な地場産物を食体験することで、地域の食文化や産業への関心と理解を深めることが期待されます。

なお、米の地産地消にもつながるため米粉パンの学校給食への普及に期待が寄せられています。子どもたちに評判が良いという声を聞くことも多く、給食への普及に向けて学校給食会へもご協力をお願いしています。

今後とも、学校給食につきましても、食育の生きた教材としての役割を發揮させつつ安全でおいしい給食が提供されますよう、皆様のご尽力をお願いいたします。



長野県教育委員会事務局 保健厚生課長 松野 賢衛

安全でおいしい給食、そして生きた教材にも

平成二十三年年度 役員会開催される

去る六月二十三日(木)、本年度 第二回の理事会及び評議員会が、本会に於いて開催されました。

平成二十二年度事業報告、収支決算及び諸規定の改正について慎重にご審議いただき、承認されました。

また、二十三年度役員の一部交代と評議員については下表のように決まりました。

当面する課題として、平成二十五年十一月に申請期間が締め切られる「新法人への移行」について協議がなされ、他県給の情勢や本会の今後のスケジュールについて話し合われました。また、顧問公認会計士からも法律の目指すことについての説明をいただきました。理事長からは、今年度末までには、本会の移行先について結論を出していただきたいとの表明がありました。



— 評議員会 —

平成23年度 (財)長野県学校給食会 理事・監事・評議員

■評議員

Table listing council members (評議員) categorized by district (区分) and position (現職). Includes members from the Education Committee, District School Principals, and the Prefecture PTA Union.

■理事

Table listing board members (理事) categorized by district (区分) and position (現職). Includes members from the Education Committee, School Principals, and PTA Unions.

■監事

Table listing supervisors (監事) categorized by district (区分) and position (現職). Includes members from the Education Committee, Academic, and PTA Union.

顧問税理士 朝日長野税理士法人 代表社員 小林邦一 公認会計士

平成二十三年度 主な事業内容

- List of main activities for the fiscal year 2023, including school food supply, safety management, and research projects.

給食雑感



胡瓜(キュウリ)考

本会評議員

長野市教育委員長

近藤 守

東日本の大震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げ、本県栄村も含めて、被災された方々の生活が一日でも早く復興されることを願っております。そんな中、日本人の秩序ある行動や忍耐強さ、他への思いやりなど、人としての美質が世界に発信され、誇らしくも嬉しくもありました。ただ、なかなか収束の見通しがつかない原発事故は、たいへん気がかりなことです。

もう二十数年も前になります。が、小学校低学年の担任であった時、キュウリはスパーで成ると思っていた児童がいたのに驚いて、学級園でキュウリを栽培しました。「胡瓜」と「胡」の字を用いるのは、シルクロードを経て、我が国に伝わった証であるようですが、私の子ども頃、キュウリは夏だけの食べ物でした。毎年、庭の片隅で父が栽培してくれたキュウリは、苦みが強かつたように覚えています。

さて、話しをもとに戻して、学

級園で栽培したキュウリは、子ども達と私にいろいろなことを学ばせてくれました。まず、キュウリの成長には温かな温度が必要なこと。次いで、西瓜のように完全したもののは苦くて食べられず、みずみずしい半熟の状態を食べること。スパーではなく畑で、人が手間をかけて育てていること。その後、中学で社会科を担当するようになって、高度経済成長の頃から、ビニールハウスでの促成栽培や真冬の栽培など、人々の知恵と努力についての学習もしました。現在は、黒いイボの苦みのあるキュウリから、白いイボの苦みの少ないキュウリが主流となっておいしくなり、工場で生産されるようにもなってきました。いまや、キュウリは年中あるのが当たり前という時代になりました。また、キュウリばかりではなく多くの野菜や果物も、年間通じて店頭に並べられるようになっていきます。

食べ物が増え、食生活が豊かになった

給食雑感



変わらぬもの

本会理事

大町市立大町西小学校長

幅下 守

平成二十年度に長野県食育推進計画がスタートし、学校においても、食に関する指導を学校全体に取り組みとして推進していくこととなりました。各学校では、食に関する全体計画の作成・推進の取り組みが始まっていることと思

脱脂粉乳や小麦粉などの救援物

が故に、食育が必要になったという話を聞いたことがあります。今までも学校では、給食を作るのに関わってくださっている方に、感謝をしながら食べるよう指導してきました。また、改めて述べるまでもなく、物の命をいただき私たちは生かされていることも教えてきています。そこに、未曾有の大震災でエネルギーを問い直さねばならなくなりました。

資が贈られたことから全国に普及し、昭和二十九年には、学校給食を恒久的なものにするため、国庫負担等を明確にした学校給食法が制定されています。私の小学校時代は昭和三十年代ですので、完全給食開始の頃と重なります。揚げパンや鯨の竜田揚げがおいしかったことや、反対に薄い膜の張った脱脂粉乳がま

学校給食法の制定から半世紀

が過ぎましたが、当時の給食に比べるとメニューも豊富になり、食品の安全や栄養面など十分に吟味されたものが出されています。

また近頃は、日本型食生活や郷土のメニューが取り入れられたり、旬の野菜や自然の味が取り入れられたり、菌ごたえのあるものが食材に取り入れられたりしています。現代の子どもたちに不足しているものを学校給食で味わわせてあげたいとの栄養士の先生方の思いが感じられます。

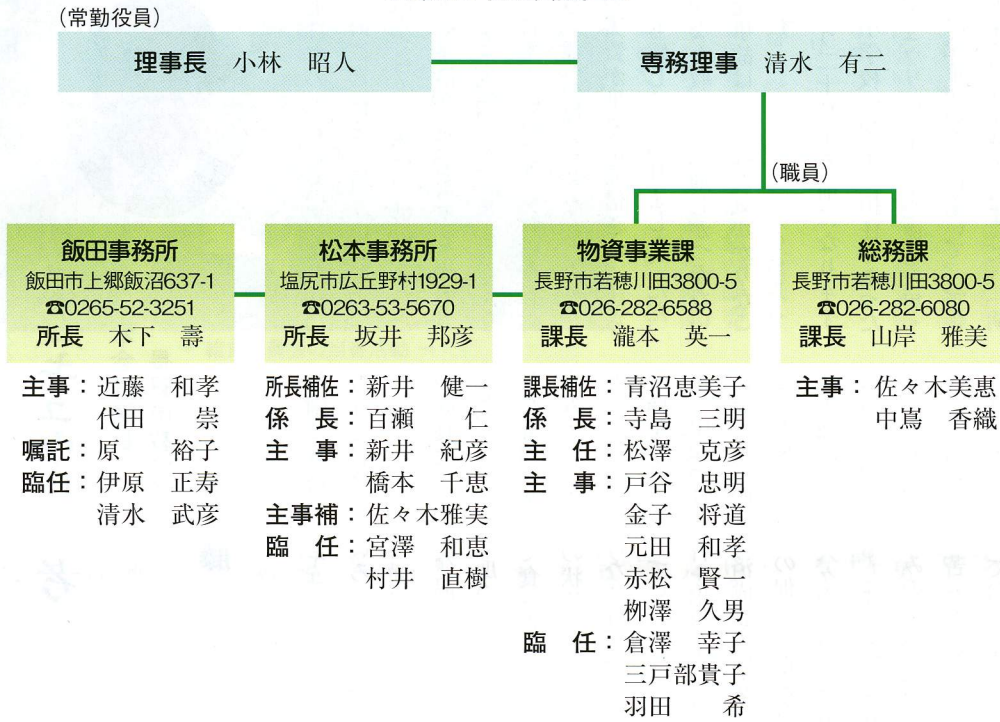
さらに、今回の学校給食法の改正では、学校給食を「生きた教材」として活用しつつ食に関する指導を行うということが盛り込まれ、その実践もなされてきています。

半世紀の間に大きく変化している学校給食ですが、皆で食することの楽しさは昔も今も変わっていないように思います。勉強とは異なる開放感の中で、楽しく友だちや先生と語り合いながら食するひとききは格別です。その楽しさの中で、仲間づくりができた、規則正しい食生活習慣が身についた、作り手の思いやりと愛情を自然に感じることできたりするといった学校給食の良さを、今後大事にしていきたいものです。

四月二日から組織を変更いたしました

課制、事務所制を敷き、従来の本部は「総務課」に、長野支部は物資事業課に、松本支部、飯田支部は、「松本事務所」「飯田事務所」に名称を変更しました。組織の整備によって、指示系統を円滑にするとともに、効率的なサービス提供と事務処理を行い、職員が気概をもって職務に励む体制を構築いたしましたので、今後ともご支援ご協力をお願いいたします。

組織及び役職員配置図



総務課

課長 山岸 雅美



前年度までの「本部」の主食物資の供給に関する事柄が本年度より「物資事業課」に統合されました。需要量の変更等につきまして、

は物資事業課にお問い合わせください。

総務課では主に経理・庶務・総務を担当します。皆様に係るところでは、毎月ご送付いただいている納入報告書の入力や、請求書の発送等があります。それらの件で何か不明な点がございましたら総務課までお問い合わせください。

パソコン相手の仕事を中心のため皆様にお目にかかることは少ないですが、課長以下三名頑張っています。これからもよろしく願っています。

物資事業課

課長 瀧本 英一



本年四月より新体制となりました物資事業課について紹介させていただきます。本課は、各支部で行ってききました一般物資供給事業、本部で行っていただきました基本物資供給事業を統括する部署となります。一般物資については東信地区、北信地区を、基本物資については全県の供給事業を担当させていただきます。営業配送担当五名、倉庫担当三名、事務担当四名の体制で活動しております。新しい体制の下で皆様方のご要望にこたえるべく努力してまいりますのでよろしくお願い致します。

松本事務所

所長 坂井 邦彦



今回の震災と松本地区地震において被害にあわれた皆様には心よりお見舞いを申し上げます。学校給食関係者の皆様に支えられ、この地に事務所を構え今年で二十年になりました。本当に感謝申し上げます。節目の年を迎え、誠実・的確・敏速を目標に八名が新たな気持ちで頑張っております。努力不足ですがどのような事でもかまいませんので一報をお待ちしております。子供たちが笑顔になれますように！ 今後も安全安心を心掛

け、食材のご提案と提供を致してまいります。

飯田事務所

所長 木下 壽



飯田事務所は、下伊那・上伊那を担当して、センター及び学校数は約六十五施設を受け持っております。

昨年九月に「南信州竹の子プロジェクト」を五団体と立ち上げた地方事務所の商工観光課・林務課の助言をもらい、五月十七日より販売を開始しました。マスクに大きく取り上げられ子供たちがおいしく食べているところを見るとプロジェクトをやってよかったなと思えました。今年は裏年で目標の四トンにはとどかなかったのですが、来年に向けて多くの学校に使ってもらえるようにがんばりたいと思います。これからも安全安心な商品をお届けしますのでよろしくお願い致します。

各課・各事務所から

感謝の気持ちで給食を

須坂市立森上小学校

六年 小林亜理紗

私達の学校では、毎年、姉妹学級と仲良く給食をしています。

桜が咲いている時は、外で桜を見ながらお花見給食をします。

冬は教室でしりとりをしたり、一年生が楽しめる様なゲームをたくさんします。

みんなが喜んでくれると給食がますますおいしくなります。

仲良く給食では、ふだんあまり話さないたくさんの友達と仲良くすることが出来ます。このように仲良く給食ができるのも毎日給食をつくってくださる給食センターのみなさんのおかげです。

給食は、赤・黄・緑の食品が必ず入っており、栄養バランスが考えられてつくられています。そのため私達は、健康な生活を送ることができてきます。

何千人分もの給食をつくってくださっている給食センターの皆さんに感謝しています。給食を残すとせつかつくってくださったのにと



桜の下で仲良く給食

でも悲しい気持ちに
なると思っています。

私達にできること

は、給食を残さず食べることです。そして、食器も決まりにしたが、正しく返却することです。

今、私達のクラスでは、全員が残さずに食べています。これから
も感謝の気持ちを忘れずに残さず
にいただきたいと思っています。

みんなとおいしく 食べる給食

六年 竹田朝夏

私達のクラスの給食は、クラスの

給食係が中心になって、いろいろな席にして楽しく食べています。例えば、いつものグループで食べたり、男女別で食べたり、くじでグループを決めて食べたりしています。いろいろな人とおしゃべりできて楽しいのですが、ついつい食べるのが遅くなっ

てしまいます。

私たちの学校

では食べている途中に、給食センター便りをお昼の放送で流します。そこでは、

今日の給食のメニューの紹介や食

材について豆知識がわかるクイズが流れます。そうするとみんな、「一番正解だ」と指で番号をさして、正解だと大喜びしています。とくに私はとうもろこしの毛の数だけとうもろこしができるとい



皆で仲良く交流給食

うことを覚えて
います。とても勉強になりました。

とを給食センターで働いている皆さんに感謝の気持ちを持って残さず食べていきたいと思っています。

楽しい給食

楽しかった給食

上田市立丸子中学校

三年 櫻澤 熙

私は、この春三年一八〇〇日も給食を食べることにな

生になりました。私達ができるのは、今年が最後の年になってしまします。小学校からの九年間、いろいろな給食がおいしくお世話になりました。一年間の給食の日数は約二〇〇日です。九年間、急



食べ盛り!仲良く半分ずつ

した。

そんな楽しい思い出がいっぱいの給食が、あともう少しで終わってしまおうと思うと、とてもさびしいです。だから、三月まで、給食をしっかり味わいたいと思います。

おいしい給食

に使えるなくなってしまった食材が数多くあると聞いています。そんな状況でも給食センターの方々は、他の食材を使って、おいしい給食を作ってくださいました。とてもありがたかったです。

今までの学校生活をふり返ってみると、「給食」は、特別な時間でした。クラスみんなで協力して準備し、大人数で食べる。それは家庭では味わえないものです。準備では、クラスがまとまらない時は、時間がかかってたいへんですが、大人数での食事は、家で二人きりで食事するのは、とても楽しいものです。あまり話したことがない人とも、食事をしながらだと、普段より気軽に話しかけることができました。私は好き嫌いがありませんが、嫌いな食べ物がある人もいます。そんな友達に、給食に嫌いな物が出た時、がんばって食べてくれました。「がんばって食べれたよ」と聞いて、こちらまで嬉しくなりました。

『こんなこともありました』

南箕輪村学校給食センター

栄養士 伊東 孝子

昨年四月に本センターに異動となり、約千三百食の給食を作っています。この一年で子どもたちや先生方、調理員さんの様々な反応に出会いました。その一部を紹介します。

○セロリ

「セロリぼく滅」と書いた紙を見せに来た給食委員会の副委員長(男子)。セロリ嫌いな仲間を集めているらしい。

「今日の給食なに?」
「ブルーベリーパンか。レーズン入ってるの?」
「いや、ブルーベリーパンだからさ。」
「栄養士心の声:どうしたもんか……)」

「今日の子どもたちは謎の黄金卵に興味津々。センターも初挑戦。ゆで卵にでんぶんをつけて油で揚げするため、卵がときどき小爆発、黄身が出てきたりもした。甘辛のタレにからめて刻みピーナツを卵にまぶす。」

栄養士さんの窓

栄養士四年生

木祖村学校給食センター

栄養士 酒井 葉月

を揚げてくれた。おかげでとてもおいしくできて、子どもたちも先生たちからも「おいしかったよ!」の声が続々届いた。 ※ちなみに黄金卵は、部会で作成した「鉄・食物繊維のとれる献立集」に載っていたものです。

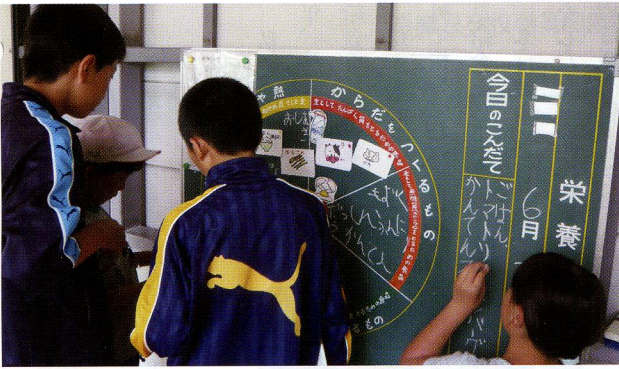


給食レンジャーもデザート配り

配をしてくれました。そしてサンタクロース役を事務の先生にお願いすると、快く引き受けてくれてその衣装を着て配ってくれました。 思いがけないサンタクロースの登場にランチルーム中は大歓声。 喜ぶ子ども達の姿と、子どもの喜ぶ姿のために手を尽くしてくれた大人の思いが有難くて、私にとっても嬉しいクリスマス給食となりました。

何年か前の給食会だよりに載っていた子供の作文に、『給食を残さず、きれいに食べられるのは、給食の先生が、がんばって愛情をたっぷり詰め込んで、給食を作ってくれるからだと思えます。そして、いつもどうしてこんなにおいしいのか考えたりします。それは給食の先生達が、きつと手抜きをしないで、おいしく食べてほしいという気持ちで作っているからだと思えます。』と書かれていました。この文章を読んだとき、栄養士業の大変さと大切さに気づかされました。そして今も仕事をやる上で糧となつていきます。

給食に期待と信頼をしている子供たちのためにも、安全・おいしい・感謝の給食を関わる方々と協力して大事に作っていききたいと思えます。



給食委員会の当番活動

○黄金卵

この日の子どもたちは謎の黄金卵に興味津々。センターも初挑戦。ゆで卵にでんぶんをつけて油で揚げため、卵がときどき小爆発、黄身が出てきたりもした。甘辛のタレにからめて刻みピーナツを卵にまぶす。

担当した調理員さんは、「せんせー、こわいよ!」と、爆発物処理班ながら、命がけで卵

先日クラブ活動の終わりにカードの記入をしていたら、一人の子どもに「先生は何年生なの?」と聞かれてびっくりしました。急で思いもよらない質問に、その場では冗談で応じましたが、ふとこの仕事について四年が経つんだなあと思いました。

「初心忘れるべからず」とは裏腹に、子供たちと食べていると箸の持ち方やむら食いなどの食事マナーが目について、実際の課題にどのようにアプローチしていこうか悩んでいたりました。 昨年のクリスマスのごことです。クリスマス給食と銘打っていただけども、普段の献立と何ら変わらなかつたので、サンタクロースの格好をしてデザートを配る事にしました。 この私の思いつきを当日の朝に用務員さんと調理員さんに相談すると、村中に連絡をして衣装の手

平成23年度新規採用学校栄養職員の抱負

学校栄養職員になって

南相木村立南相木小学校

小口 沙紀



早いもので、南相木小学校で学校栄養職員として働かせていただき、二ヶ月が経ちました。初めての土地・初めての職場で戸惑うことばかりですが、子どもたちと食を通して関わることができ、とても幸せに思っています。

大学時代、栄養について学ぶ中で、子どもたちから食習慣を形成することがいかに大切であるか、ということ学び、学校給食に携わりたいと強く思うようになりました。

南相木小学校は、ランチルームで給食を食べるため、子どもたちの配膳や食事の時の全体の様子を見ることが出来ます。子どもたちのおいしそうにモリモリ食べる姿や、時には嫌いな食べ物でも頑張つて食べようとする姿を見ると、とても嬉しく感じます。また、笑顔と一緒にくれる「ごちそうさまでした」の言葉が、毎日の力になっています。今はまだ始まったばかりなので、勉強の毎日です。栄養士は学校に私一人だけというプレッシャーを初めのうちは感じていましたが、調理員の先生方を始め、学校の先生方、近隣の学校の栄養士の先生方に助けていただきながら、一生懸命取り組んでいます。

学校給食は子どもにとって、おいしいものであると同時に、食育の生きた教材であると思います。子どもたちが明るく元気に生活できるよう、おいしくて安全な給食を目指しながら、笑顔を忘れずに、栄養士として成長していきたいと思えます。

きっかけは、フライビーンズ

長野町立辰野西小学校

石井 宏美



「せんせい！豆好きじゃなかったけど、今日のはおいしくて全部食べれたよ。」給食にフライビーンズが出た日、嬉しそうに声をかけてくれた子がいきました。実は私も、十五年前に同じことを思い、料理が好きになったことがきっかけで、今辰野西小学校の給食室で働かせていただいている自分がいます。子供たちの元気にパワーをもらい、給食に携われることをうれしく思います。

着任して二ヶ月が経ち、先生方に支えられながら、日々の業務にも少しずつ慣れてきました。五八〇人分の野菜を手際よく切り、大釜をかき混ぜていく調理員の皆さんの様子は圧巻です。五月から自分の献立が始まり、後について一緒に手伝わせていただく中で、反省も多々ありますが、給食を楽しみにしてくれている子どもたちのためにもっともつとがんばろうと強く思う毎日です。

昨年度の資料や、近隣の学校栄養士の先生方にご指導いただく中で、食育への取り組みや地域の農家の方々との関わり方などを知り、この仕事の奥深さを改めて感じています。課題は沢山ありますが、今はまず毎日の業務を確実に、安全でおいしい給食作りに励むこと、そして、一步一步成長していくことだと思えます。私にとっての「フライビーンズ」のように、子どもたちの心に残る給食作りをずっと心掛けたと思います。

給食作りへの思い

飯島町学校給食センター

松本 恭子



「おいしい給食いただきます」今日も子ども達の声が聞こえます。

昨年、私はこれから先どんな生き方、仕事をしたいのか迷い考えました。そして、幼い頃から食べ続けてきた母の料理から教わったこと「食の大切さ」、このことを子どもたちに伝えたいという答えを出し、一念発起し学校栄養職員という職に携わることになりました。

食の基本は家庭だと思えます。しかし年間二〇〇食以上が学校給食の手にかかっています。摂取基準に沿った献立作成、地産地消、多彩な食材、旬のもの…など計算上や紙の上では合格点が出たものでも子ども達にとっては好物もあれば嫌いなものもある毎日の献立です。それでもお友達がいって先生がいってみんなで食べる給食は美味しく、楽しい時間です。大人になって様々な思い出話ができる給食にしていきたいと思えます。また、生産者や調理員の方々が丁寧に作ってくださった食材や料理の温かい心を伝えることも私の担う仕事の一つだと考えています。

学校栄養職員として早くも二ヶ月。はじめての事ばかりで失敗の連続ですが、調理員の方々に助けられ、多くの先生に教えていただき今日に至っています。本当にありがとうございます。これから、保護者、調理員、先生、給食に関わるすべての方々、全員で大きな輪となり子ども達に心身ともに満足できる給食を提供出来るように努めて参りたいと思えます。

長野県北部地震をのりこえて

栄村立栄小学校 大久保ちひろ

三月十二日の午前三時五十九分、栄村をおそった地震は至る所に爪痕を残しました。

その日、国道一一七号線が全面通行止めになり、学校との連絡は電話でした。まず確認したのは厨房のガスについてでした。教頭先生から元で止めたと聞いて安心し、次に臨時休校の指示



— 潰れなくてよかった —

四月十三日の給食再開に向けてガス管の工事と、機器の稼働確認を業者をお願いしました。しかし、一番の問題は水でした。厨房の中の掃除も出来ない、衛生管理の基本の手洗いも十分に出来るかどうか、また水がなければ汁物も作れないし食器も洗えません。村の教育委員会からは「水なし給食で」との指示がありました。県の保健厚生課の小林先生にもご指導をいただいたり、先輩栄養士からいろいろな知恵をいただいたりしました。最終的には給食開始二日前に、なんとか水も使える状態まで戻りました。

で、発注していた給食物資のキャンセルを業者さんとやりとりしました。次の日学校に行き、ガス管が割れてガスが漏れていたこと、上下水道が使えないこと、でも厨房の中の機器が倒れたりしていないことや食器の破損がないことを確認しました。調理員のみなさんも無事でした。



— ひびだらけ —

四月十三日の給食再開に向けてガス管の工事と、機器の稼働確認を業者をお願いしました。しかし、一番の問題は水でした。厨房の中の掃除も出来ない、衛生管理の基本の手洗いも十分に出来るかどうか、また水がなければ汁物も作れないし食器も洗えません。村の教育委員会からは「水なし給食で」との指示がありました。県の保健厚生課の小林先生にもご指導をいただいたり、先輩栄養士からいろいろな知恵をいただいたりしました。最終的には給食開始二日前に、なんとか水も使える状態まで戻りました。

だが、今も節水に心がけての給食です。つい先頃も仮設の水道管が破裂して学校への水が供給できなくなるという事態が発生しました。幸いすぐに復旧して事なきを得ましたが、急な献立変更にも対応していく必要性ができました。

- 6・20(月) 米トレーサビリティ法説明会 全国学校給食振興期成会総会 於東京
- 6・21(火) 若穂食品衛生協会総会 於東京
- 6・22(水) 上田市栄養教諭学校栄養職員部会 学校給食主食納入業者視察 於東京
- 6・23(木) 第1回理事会評議員会 於本会
- 6・24(金) 全給連第一回定例総会 於東京
- 6・27(月) 寺島係長 勤続20年表彰 於東京
- 6・29(水) 県牛乳普及協会総会 於長野
- 6・30(木) 安全運転管理者講習会 於長野
- 新法人移行検討委員会 於本会
- 6・7(火) 平成二十二年会計監査 於本会
- 6・13(月) 長野県学校保健会理事会 於県庁
- 6・16(木) 米粉パン企画検討委員会 於本会
- 6・3(金) 栄養教諭学校栄養職員部会総会 於長野
- 6・2(木) 新法人移行検討委員会 於本会
- 5・27(金) 県PTA連合会総会 於長野
- 5・22(日) 麵業協同組合総会 於松本
- 5・20(金) パン商工組合総会 於長野
- 5・12(木) 第2回管理職会 於中信会館
- 5・10(火) 公益認定申請に関わる関プロ事務担当者会 於東京
- 4・15(金) 第1回管理職会 於中信会館
- 4・1(金) 辞令交付式 本会組織の改編 物資事業課・総務課を設置 松本・飯田支部を事務所に変更
- これから夏に向けて、水不足が懸念されています。今回の地震で、安全な給食業務には十分な水の確保が重要だと感じました。
- 最後に、今回の長野県北部地震で皆様から多大な支援とあたたかい励ましのお言葉をいただき、心より感謝申し上げます。

給食会日誌抄

機関紙 No.166

編集・発行 財団法人 長野県学校給食会
 〒381-0103 長野市若穂川田3800-5
 TEL 026-282-6080 FAX 026-282-6535
 E-mail : info@nagk.or.jp

印刷所 有限会社 丸山印刷
 TEL 026-226-0886

お知らせ
 武井一義常務が去る六月九日(木)逝去いたしました。ここに生前のご厚誼に感謝し謹んでお知らせいたします。